

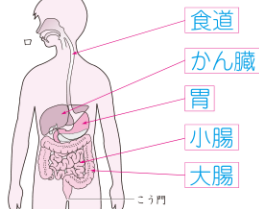


理科6年 消化と吸収 食物れんさ 答え

月 日

消化と吸収

下の図や文の にあてはまる言葉を、下の から選んでかきましよう。



大腸 小腸 がん臓
消化管 胃 食道

口から肛門までのつながっている管を **消化管** という。

小腸を広げるとデニースコート一面分の広さになるよ。

次の () にあてはまる言葉を、下の から選んでかきましよう。

食べ物は、だ液や胃液といった (**消化液**) のはたらきで、体に吸収されやすいものに変えられ、おもに (**小腸**) で吸収される。

吸収された養分は、(**がん臓**) にたくわえられたり、血液によって (**全身**) に運ばれて、生きていくために使われたりする。

全身 小腸 がん臓 消化液

次の問いに答えましよう。

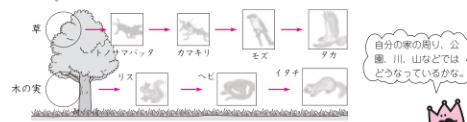
- 口から入った養分がおもに吸収される臓器は何ですか。 (1) **小腸**
- 食べ物を吸収されやすいものに変えるはたらきを何と いいますか。 (2) **消化**
- (2) のはたらきをする液を何と いいますか。 (3) **消化液**

食べ物をかみくだいたり、吸収されやすいものに変えたりするはたらきを (**消化・吸収**) といい、(**だ液**) や (**胃液**) を (**消化液**) (**吸収液**) という。

考え方 1 食べ物の通り道は、口、食道、胃、小腸、大腸、肛門の順である。 2 おもに小腸で吸収された養分は、血液によって体の各部分に運ばれ、一部はがん臓にたくわえられる。

食物れんさ

下の図のように、生物どうしの関係を調べました。 () にあてはまる言葉をかきましよう。



- 動物は、植物やほかの (**動物**) を食べて養分を得ている。
- 生物どうしは、食べる・ (**食べられる**) という関係でつながっている。このつながりを (**食物れんさ**) という。

次の () にあてはまる言葉をかきましよう。

植物は、(**日光**) が葉に当たることで、自分で (**養分**) をつくることができる。動物は、植物やほかの動物を食べて養分を得ている。

次の文で正しいものには○、まちがっているものには×をつけましよう。

- すべての動物は、植物だけを食べて生きている。 (1) ☒
- 植物は、日光が当たると自分で養分をつくることができる。 (2) ☐
- 生物どうしの「食べる・食べられる」の関係のつながりを食物れんさという。 (3) ☐
- ヒトや動物は、自分で養分をつくることができる。 (4) ☒

生きていくため、動物は (**植物**) や、ほかの (**動物**) を食べる。生物どうしの「 (**食べる・食べられる**) 」の関係のつながりを (**食物れんさ**) という。

考え方 1 草食動物は植物を食べ、肉食動物はほかの動物を食べる。 2 動物はほかの生物を食べ、養分を得るが、植物は自分で養分をつくる。